

第5回所沢市放課後児童対策協議会

会 議 録

令和3年1月13日

様式 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	第 5 回 所 沢 市 放 課 後 児 童 対 策 協 議 会
開 催 日 時	令 和 3 年 1 月 1 3 日 (水) 午 後 1 時 3 0 分 から 午 後 3 時 0 0 分 まで
開 催 場 所	市 庁 舎 高 層 棟 7 階 研 修 室
出 席 者 の 氏 名	(会 議 録 別 表 1) の と お り
欠 席 者 の 氏 名	委 員 玉 井 逸 郎 委 員 高 田 美 智 子
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 6 重 点 事 業 に 対 す る 委 員 意 見 及 び 答 申 (案) に つ い て (2) そ の 他
会 議 資 料	(1) 6 重 点 事 業 に 対 す る 委 員 意 見 一 覧 (2) 答 申 (案)
担 当 部 課 名	こ ども 未 来 部 長 町 田 真 治 こ ども 未 来 部 次 長 内 野 孝 雄 こ ども 福 祉 課 課 長 岩 雲 美 香 こ ども 相 談 セ ン タ ー 所 長 並 木 教 至 青 少 年 課 課 長 三 上 佳 明 主 査 相 笠 豊 田 中 智 子 主 任 小 貫 多 加 志 原 勇 介 電 話 0 4 (2 9 9 8) 9 1 0 3

(会 議 録 別 表 1)

所沢市放課後児童対策協議会委員 名簿

	種別	名前	出欠席 状況	所属等
1	(1) 公募による市民	倉片 英治	出席	
2		中村 大介	出席	
3	(2) 関係団体の代表者	高田 美智子	欠席	民生委員・児童委員連合会 (吾妻地区会長)
4		渡辺 昭子	出席	青少年育成所沢市民会議 (青少年育成推進員協議会会長)
5		玉井 逸朗	欠席	P T A 連合会 (柳瀬中学校 P T A 会長)
6		松本 弘	出席	自立支援協議会 (社会福祉法人藤の実会)
7		金丸 慎一郎	出席	放課後児童健全育成事業者 (株式会社がくどう舎)
8		小沢 貞泰	出席	放課後こども教室実施校 (北秋津小学 校ほうかごところとんぼキッズ)
9	(3) 知識経験を有する 者	笹井 宏益	出席	玉川大学学術院研究所教授
10	(4) 所沢市立小学校の 校長	戸村 達男	出席	所沢市立小中学校校長会 (所沢市立所沢小学校長)

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>1 開 会</p> <p><input type="checkbox"/> 傍聴者確認（0人）</p> <p><input type="checkbox"/> 会議資料の確認</p> <p><input type="checkbox"/> 会議成立の報告 欠席者2名。出席委員が、委員総数の過半数を超えていることを確認し、会議が成立したことを報告した。</p> <p>2 議 事</p> <p>（1）6重点事業に対する委員意見及び答申（案）について</p> <p>（2）その他</p> <p>（1）6重点事業に対する委員意見及び答申（案）について</p>
会長	<p>議事（1）6重点事業に対する委員意見及び答申（案）について、事務局より説明をお願いする。</p>
事務局	<p>事務局より、はじめに重点事業に対する意見について、資料1を使い紹介しながら、資料2に基づき、答申（案）について説明した。</p>
会長	<p>事務局の説明を確認する。まず、審議方法について、</p> <p>① 意見が提案の内容に大きく影響を及ぼすと思われる場合には、この場で協議会としての合意形成を図る。</p> <p>② 意見が各論である場合や言葉の言い回しなどは、特に合意形成は図らず、答申案への反映について、会長と事務局とで協議する。</p> <p>③ とりまとめた案2は、後日各委員へ送付し、確認いただいた後、次回協議会で確定する。</p>
	<p>の3点である。この流れ等について意見や質問等いかがか。 ～なし～</p>
会長	<p>【重点事業1 放課後児童健全育成事業について】 質疑等いかがか。 ～なし～</p>

委員	<p>【重点事業2 放課後支援事業「ほうかごところ」 について】</p> <p>一点目、保護者にとって「児童クラブ」と「ほうかごところ」の違いが分かりづらい。児童クラブは有料、ほうかごところは基本的に無料。保護者から学校へ「ほうかごところ」を作って欲しいという声があるが、設立は簡単ではない。保護者に対しては、「ほうかごところ」は地域立で、スタッフとして協力してもらえるか尋ねると尻込みしてしまい、設立することの難しさを理解してもらっている。「ほうかごところ」は安く預かってくれる場所という認識が保護者にはあり、この誤解はなかなか解けない様に思われる。ほうかごところの当初の理念である「居場所づくり」から離れ、子供を預かってくれる場所になってきている。児童クラブと混同され、保護者の言う不公平感につながってしまう。このため、事業を更に充実させることは、難しいと思われる。</p> <p>二点目、地域立のためスタッフの確保が難しい状況がある。スタッフの確保だけでも苦勞しており、現状を維持するので精いっぱいである。</p> <p>以上の二点から、答申(案)の「充実」という文言を「継続」に変更できないか。</p>
会長	<p>表現の問題なので、事務局と調整する。</p> <p>他に意見はあるか。</p>
委員	<p>「棲み分けや事業の一本化について」と記載あるが、具体的にはどういうことか。</p>
事務局	<p>委員から頂いた意見を記載しており、現時点では具体的に想定していない。</p>
委員 事務局	<p>内容が少し踏み込みすぎているのではないか。</p> <p>本日は所管課が欠席のため、先ほどの表現も含めて内容を調整し、会長と協議のうえ報告する。</p>
委員 会長	<p>保育と教育の線引きをはっきりさせてはどうか。</p> <p>保育と教育は重なる部分があり、完全に切り離すことは難しい。</p>
委員 会長 委員 事務局	<p>【重点事業3 放課後子ども総合プラン推進事業 について】</p> <p>「部の垣根」という表現は、改めて欲しい。</p> <p>事務局と協議する。</p> <p>中富小と北秋津小の一体運営の違いを改めて説明して欲しい。</p> <p>中富小の導入当初3年間は直営で運営、その後は同一事業者により「児童クラブ」と「ほうかご広場」を一体的に運営している。北秋津小では、「児童クラブ」は青少年課、「ほうかごところ」は教育委員会が所管しているが、連携して運営している。</p>

委員	<p>【重点事業4 障害児支援事業 について】</p> <p>「各施設の環境整備やコロナ禍における対応等の支援も期待する」という表現に関して、誰が誰を支援するのが分かりにくい。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、主語が市なのか、利用者なのか読み取れないので、所管課と調整したうえで、会長と協議して報告する。</p>
委員	<p>【重点事業5 児童家庭相談事業 について】</p> <p>「相談件数が減らせるような方法」という表現に関して。この表現だと、ただ相談件数を減らすことが目標の様に感じられる。相談しやすい環境を作ると相談件数は増えていくと考えられ、相談件数の増加に対応できるような環境を作ることが大切である。予防的な表現にした方が良いのでは。</p>
会長	<p>例えば「早期発見・早期解決につながるような」とか、表現については、事務局と調整させていただく。</p>
委員	<p>【重点事業6 ふるさと所沢親子で再発見事業 について】</p> <p>郷土かるたは、聞いた話では保護者に評判が良くないようだ。コロナ禍でもあり、見直すチャンスではないか。また、かるた大会の参加者は、運営委員の保護者の子どもがほとんどという話を聞いている。</p>
事務局	<p>小学校で行っている、かるた大会は県の郷土かるただと思われる。かるたの種類も、県と市の郷土かるたがあり、分かりにくいところがある。市としても、県のかるたが先行しているが、様々な事業を展開して市のかるたの普及を図っている。</p>
委員	<p>市の郷土かるたは児童クラブ・児童館では子供に人気であるが、学校では普及が進んでいないようだ。</p>
委員	<p>この事業は単に子供だけでなく、親にもふるさと意識を醸成することが重要である。親子で一緒に地元を再発見するという基本姿勢を崩さず事業を進めて欲しい。</p>
委員	<p>コロナ禍で外遊びができない時にかるたは少人数で遊ぶことができ良いと思うが、かるたの購入先が分からない。</p>
事務局	<p>青少年課で販売している。</p>
委員	<p>県のかるたに比べ市のかるたは認知度が低い。市のかるた大会を開催しても県のかるた大会と同じようになってしまうので、他の方法での普及を期待する。</p>
会長	<p>所沢市に住んでいる方でも、地元のことを良く知らない方が多い。事業名のとおり、郷土かるたを通じて、ふるさと所沢を親子で再発見しようと</p>

	<p>するものであり、非常に有意義な取組みである。かるた自体は面白いので、活用法を工夫すれば良いと思う。コロナ禍において、地元で楽しむ・地元で小さな喜びを見つけると言った発見が大事であり、郷土かるたは、そのきっかけになる。</p>
<p>会長</p>	<p>重点事業への提案について、本日の審議を踏まえて事務局には答申案2の作成をお願いします。</p> <p>それでは、議事（1）については、以上とする。</p>
<p>会長</p>	<p>（2）その他</p> <p>議事（2）その他について、まず小沢副会長より子ども子育て会議の状況の説明をお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>こども子育て会議は、コロナの影響で書面での開催になった。一か所に集まるのが困難な今、密をさけた会議開催の方法の検討を要望している。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>次に、事務局より説明をお願いします。</p> <p>次回、第6回協議会の開催は、令和3年2月17日（水）を予定している。協議会にて答申をまとめた後、会長と副会長が市長へ提出する。</p>
<p>会長</p>	<p>3 閉会</p> <p>以上をもって、本日予定されていた議事は全て終了した。各委員のご協力に感謝する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>